

第1回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 平成29年7月13日（木） 15:00～17:00

【場所】 北別館4階 第1会議室

【出席者】 検討委員会委員 16人（欠席1人）
教育委員会事務局 11人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 委嘱状交付

16人に委員委嘱。

3 教育長挨拶

4 委員紹介

名簿順に委員紹介後、教育委員会事務局職員の自己紹介を行った。

5 会議の公開

学校再編推進室長から、大牟田市審議会等の設置運営及び公開に関する要綱第7条第1項の規定に基づき、原則公開とすることを説明。会議録は検討委員会の承認を受けた後公開する。

6 議題

(1) 検討委員会設置要綱について

学校再編推進室長より説明。

(2) 委員長・副委員長選出

委員の推薦がなかったため、事務局から委員長に林委員を、副委員長に後藤委員とする提案を行い、了承された。

(3) 委員長・副委員長挨拶

発言者	発言内容
委員長	ただ今、委員長の重任を仰せつかりました。教育長のお話にありましたように、市では適正規模・適正配置計画に基づいて学校再編が進められています。今回、この計画の第2期を迎えるにあたり、中間見直しを検討するという業務を行うわけであり、非常に重要な業務だと思います。委員の皆様のお知恵を頂きながら、大牟田市の教育環境がさらに充実したものとなるように、この計画の仕上げを行って参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
副委員長	副委員長をお受けさせていただきました。また、あまり詳しくはないと思いますが、よろしくお願いいたします。私たちが一番考えなければならぬのは、児童生徒の安心安全だと思っております。通学区域の時もそれを主に話し合いました。今回は学校再編ということで、子供たちが行きたい学校、帰りたい家、そのような環境を整えることができれば、とても良い検討委員会になるのではないかなと思っております。

(4) 教育委員会諮問

教育長から林委員長に諮問書を手交。

(5) 検討委員会のスケジュール（案）

発言者	発言内容
委員長	検討委員会のスケジュール案の説明を事務局からお願いします。
事務局	【資料に基づき、検討委員会のスケジュール案を説明】
委員長	第3回の学校の敷地及び施設の視察を含めて、6回の会議を開催し来年3月に答申を出すスケジュール案です。ただ今の説明にご質問があれば、お伺いしたいと思います。ご異論がなければ、スケジュール案のとおりでよろしいですか。
全委員	意見なし。
委員長	今後、このスケジュール案に沿って協議を進めることにします。

(6) 大牟田市における市立学校再編整備の経過について

発言者	発言内容
委員長	次は、大牟田市における市立学校再編整備の経過について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に基づき、これまでの市立学校再編整備の経過、第二次実施計画についての総括を説明。また、市立学校適正規模・適正配置計画（第1期実施計画）の取組を説明。
委員長	17名の委員の中で、前回平成24年度の検討委員会に引き続いての方が3名おられると聞いています。また、委員の皆様は、様々な組織あるいは団体等で活動されて、再編についても何らかの関わりを持たれている方もおられると思いますが、今日の説明の中で、分からなかった点、確認をしたい点、ご意見等もあろうかと思っています。 今日は、皆さんと情報を共有したいと思っています。質問があればお受けしたいと思います。
委員	平成27年度に右京・船津・延命中学校が再編し、宅峰中学になったが、その時に私も再編協議会委員として入っていたが、これまでは間に合うように進んでいたが、卒業する子供がせつかく新しい校舎で卒業できると思っていたら、旧校舎で卒業したりするようなことがあった。 今後、遅れがないように十分注意していただくよう希望します。よろしくお願ひしたい。
委員長	ただ今、要望がありました。事務局よろしくご配慮をお願いします。
事務局	先ほどのご意見、アンケート等にありましたように、仮校舎が不便であったり、二度の移転作業が生徒、教職員に負担になっていることがアンケート結果からうかがえます。今後の再編のあり方で配慮すべき点だと考えています。ありがとうございました。
委員長	アンケートの結果が出ていますが、概ね肯定的な意見で、それぞれご苦勞な取組をされてきた結果だろうと思います。その中で、残りの何パーセ

	<p>ントかは、いろいろな不安を持たれている保護者の方あるいは児童生徒がおられると思います。それについて、例えば不安をお持ちの保護者あるいは子供たちに対し、どういった内容が一番多かったのか、あるいはそれに対してどのようなフォローをしてきたのかをお聞かせ願いたい。今後の再編を進めていく上での参考になるのではないかと思いますので、把握しておられればよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>資料の10ページをご覧ください。こちらに右京・船津・延命中学校の再編の時のアンケート結果をつけておりますが、学校再編前の不安項目があり、再編前の不安について、その不安が解消されたかどうかの比較の円グラフをつけています。学校再編前に不安なことがあったと答えている保護者が67.6%、その不安なことがあった保護者に対し、4月の開校から3ヶ月後の7月頃にアンケートを実施しています。</p> <p>3ヶ月経ってその不安が解消されたかどうかを聞いています。「解消された」、「まあ解消された」と答えている割合が約6割、「解消されていない」、「あまり解消されていない」の消極的、否定的な意見が約4割、その解消されていない未解決の内容が4行目に書かれています。</p> <p>人間関係では、いじめ、風紀の乱れ、それから自転車通学が新たに始まりましたので、その通学路の安全の部分、学校までの距離が遠くなったため帰宅時間が遅くなったこと、このような不安がまだ解決されていないと保護者から意見が出ています。これらについては、人間関係の問題、クラブ活動の部分など、学習面も含まれていると思うが、学校での指導の中で、徐々に解決して行っていると学校からは聞いております。</p>
委員長	<p>解決できる問題は、できるだけ解決をしていただきたい。やはり、再編は良い学校づくりだと思いますので、より良い環境を作り上げて行くことは非常に大事だろうと思いますので、フォローをよろしくお願ひします。</p> <p>二点目、児童生徒の推計を35人学級ですてあります。この辺の見通しですが、国も35人の学級編制をやっていますが、大牟田市においてはかなり努力をされていて、小学校全学年35人学級ですてあります。</p> <p>今後、中学校の見通しがどのようになっているのか、私どもも把握する機会がないので、お聞かせ願えませんか。</p>
事務局	<p>35人学級についてご説明いたします。委員長からありましたように、国の法律でいきますと、小学校1年生だけが35人学級の教職員定数の配置がなされています。本市は、小学校6年生まで完全35人学級をやっていますが、これは福岡県の研究指定を受けて、35人学級を推進しています。ですから本市の場合は、小学校6年生までは35人学級を完全に全校全学年やっているところです。中学校においては、35人学級を推進している状況であります。小学校の場合は、研究指定を受けることで基準外定数の教職員を担任へ配置換えをすることができます。中学校でもそのようなことができますが、小学校の場合は、例えばクラスが1人増えれば、担任を1人増やすという作業でまかなえますが、中学校の場合は、クラスを増やすとご存知のとおり教科担任制ですので、他の教科の先生方の時間数を増やさなければならなくなります。</p> <p>そうすると、学級を1つ増やすことで他の先生方の授業時数も増えます。そこは慎重にいかないと、学校の子供たちにとって、それが本当に良い条件なのかどうか審議して推進しなければなりません。中学校においては、現在のところは研究指定を受けるかは、校長と教育委員会で協議をし</p>

	<p>た上で、子供たちにとってそれが有効に働くかどうかを検討し、指定を受けるようにしています。</p> <p>このように、今のところ中学校については、35人学級を推進しています。学校、子供たちにとって良い環境になるのであれば35人学級を行うし、規模が小さく35人学級にすると、かえって子供たちが不利な状況になる場合には実施していない状況です。今年度は、3校3学年が35人学級を実施しています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。小学校と中学校で状況が少し違うということですね。ご苦労されながら35人学級を推進していくということです。その他、確認をしたいことはございませんでしょうか。無いようですので次に進みたいと思います。</p>

(7) 大牟田市立学校適正規模・適正配置計画について

発言者	発言内容
委員長	<p>次に大牟田市立学校適正規模・適正配置計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき、現計画の市立学校適正規模・適正配置計画を説明。</p>
委員長	<p>ただ今、平成26年3月策定の大牟田市立学校適正規模・適正配置計画の説明がありました。特に押さえておきたいのが、7ページの枠組みです。ここに中学校6校を3校に、小学校4校を2校にする計画です。事務局の説明に対しご質問があればお伺いします。</p> <p>なお、今回は計画についての質問・ご意見を交えながら、先ほどと同様に委員の皆様と情報の共有化を図っていきたいと思います。したがって、具体的な見直しについての論点、例えば問題点等があるかと思いますが、それについての議論については、次回第2回の検討委員会で行いたいと思います。そういった進め方でよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それではそのような進め方でいきたいと思いますが、次回の会議が見直しについて、それぞれ意見を出していただく重要な会議になると思いますので、今の説明で、分からない点、疑問点、確認したい点があれば、お伺いをしたいと思います。</p>
委員	<p>通学区域審議会がありますが、これは継続して残るんですか。</p>
事務局	<p>通学区域審議会としての形は、一応残しております。この検討委員会の中に存在する形で残しています。</p>
委員	<p>まず、校区を見ていく上で、通学する範囲が非常に街中に来ている。今まではどちらかというと郊外型の再編がなされてきたが、大牟田・上官、中友・明治、白川・平原などは街中になっている。</p> <p>そうなった時に、通学の区域によってかなり編制が変わってくる。先ほど、国道208号線の西側、東側と話があったが、それだけでは済まないのではないかと思う。結局、中学校区域も3つにまたがっているので、通</p>

	学の内容を示した上で、議論に入っていないと校区再編は難しいのではないかと思う。
委員長	<p>先ほど、事務局の説明の中でもいろいろな課題があり、検討委員会の中で検討するものがいくつかありました。それらも含めて、検討委員会の中で少しでも掘り進めて行きたいと考えています。具体的な課題は次回にいろいろ出てくるだろうと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>その他、何か確認したい点、疑問点はないでしょうか。無いようですので、全体を通して委員の皆さんからご自由な意見、何でも良いのでありましたお願ひしたいと思ひます。</p>

(8) 議事のまとめ、次回の進め方

委員長	<p>今日の議論を簡単にまとめたいと思ひます。今日は、教育委員会から諮問を受けまして、1点目が検討委員会のスケジュール案について、協議を行いました。それから2点目は、大牟田市における市立学校の再編整備の経過、第3点目は大牟田市立学校適正規模・適正配置計画についての3点の説明を受けて協議を行いました。この協議を通じて、委員の皆さんとそれぞれ大事な情報を共有して共通認識を図ることができたと思ひます。</p> <p>次回は、今日の協議を基に、先ほど確認しましたけれども、学校再編に向けた具体的な論点 課題の整理を行いたいと思ひます。</p> <p>次回の開催について、事務局案ありますでしょうか。</p>
事務局	先ほど、全体のスケジュールで示させていただきましたとおり、今日、日程は確定しませんが、8月の後半に会議開催ができればと考えています。皆様方には早めにご案内させていただきたいと思ひます。
委員長	次回、第2回の会議については、8月の後半で調整をするということで委員の皆さんよろしいでしょうか。
委員	概ね20日以降ということですか。
事務局	20日が日曜日ですので、21日以降になるかと思ひます。
委員	時間帯は、午後3時からですか。その辺もまだ不明ですか。
事務局	皆様のご都合に合わせて、させていただきたいと思ひます。お仕事もある方もいらっしゃる中で、3時からがよろしいかと思ひ設定させていただきました。それを基本とさせていただきたいと考えております。
委員長	よろしくお願ひいたします。その他、委員の皆様から何かございませんか。なければ、事務局何かございませんか。
事務局	今後の会議については、会議の議事録を作成することで、先ほど説明しました審議会等の設置運営及び公開に関する要綱に基づき、公開が基本になっています。これにつきましては、次の回に議事録を確認していただき、よろしければ公開する運用でさせていただきたいと思ひます。

	よろしければ、議事の確認の署名人を2名を選出して、議事録を確認、署名していただき公開ということにさせていただきたい。
委員長	事務局から議事の公開について提案がありました。そのような取り扱いで委員の皆さんよろしいでしょうか。
全委員	了承
委員長	それでは、長くなりましたがこれで本日の審議を終わりたいと思います。熱心なご協議をいただきましてありがとうございました。

7 閉会